

キャラクター名  
ガラフ・アドルラント

プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	14
サポートクラス	モンク	Lv.1:	モンク	性別	男
称号クラス				年齢	19
種族	ドゥアン			境遇	記憶喪失
出自 (効果)	前科者			目標	正義

	筋力	器用	敏捷	智力	感知	精神	幸運
基本値	24	18	12	6	8	24	9
ボーナス	8	6	4	2	2	8	3
クラス修正	3	1	2	0	0	2	0
他修正						2	
能力値	11	7	6	2	2	12	3

HP	155
MP	112
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ミスリルハンマー	至近	-1	11	0	0	0	0	0
左手	クマールラの盾+パフェクトシールド+サセシヨ		0	0	0	25	12	-1	0
頭部	グレートヘルム				-1	4			
胴部	ミスリルアーマー				-1	13			-2
補助	ミスリルガントレット					6			-1
装身具									
能力値			7	0	6	0	12	8	16
スキル			8	21		12	31		
その他			-3	10					
総計(右)			11	42					
総計(左)			12	31	4	60	55	7	13
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	7			7	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定					+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
冒険者セット	ハイMPポーション
ハイHPポーション	ハイMPポーション
ハイHPポーション	ハイMPポーション
ハイHPポーション	EXMPポーション
ハイHPポーション	万能薬
ハイHPポーション	万能薬
ハイHPポーション	万能薬
ハイHPポーション	万能薬
ハイMPポーション	
ハイMPポーション	

現在重量:	25	所持金:	35090	預金・借金:	
最大重量:	48				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
タフネス	★	-	パッシブ	-	-	-		
効果:	有角族、作成時に筋力基本値+3							
バッシュ	1	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果:	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
↓加減関係↓	1							
効果:								
カバーリング★	★	2	DR直前	至近	単体	自動成功		
効果:	カバー。行動済みでも可能で、行動済みにならない。							
カバームーブ	2	4	加減リング		自身	自動成功	シノン2回	
効果:	カバーリングの射程を「20m」に変更							
アラウンドカバー	2	4	加減リング		自身	自動成功	2/シリオ	
効果:	同エンゲージの任意の複数キャラに加減。ダメージは一人分。ただし、元から自身を含む攻撃に対しては二人分。							
インバルネラブル	★		DR直後		自身	自動成功	1/シリオ	
効果:	受ける予定のダメージを0にする。							
ファイナルガード	★		クリナップ		自身	自動成功	1/シリオ	
効果:	インバルネラブルの使用回数1回復							
↓盾関係↓	○							
効果:								
パーフェクトシールド★	3		パッシブ		自身		盾装備	
効果:	装備中の盾の【物理防御力】+9							
ハイパーシールド★	★		パッシブ		自身		盾装備	
効果:	【魔法防御力】に+「装備中の盾の【物理防御力】」する。							
シールドストライク★	3		パッシブ		自身		盾装備	
効果:	武器攻撃の命中判定+3、DMG+6							
マイティスラッシュ	1		パッシブ		自身		盾装備	
効果:	白兵攻撃の命中判定+2、dmg+3							
↓ミス関係↓	○							
効果:								
バルテクスアタック★	★		武器攻撃		自身	自動成功	シリオ1回	
効果:	ダメージ+100							

成長点143点  
 現在 HP110 MP80 F4  
 アシュラッドに身を寄せる冒険者。  
 出自不明の巨大な盾を持っている。ガラフの巨艦をすっぽり覆い隠すあまりにも大きな盾だが、彼の手にはしっかりと馴染み、片手で扱うことができる。ひよんなことから地元の有力者、ルキウスと懇意になり、そのもとで活動をすることとなる。  
 放浪の冒険者で、アシュラッドに流れ着くまでの記憶はあいまいである。  
 肉体を鍛えることに余念がなく、暇さえあれば筋トレをしている。  
 ルキウスの目的が正義であると信じ活動しているが、裏を返せば見えている世界が狭いだけとも言える。

両親は任政を行う町の有力者（notアシュラッド）を暗殺する犯罪の支援を行っていたのだが、計画は失敗、トカゲのシッポ切りの形で首謀者に突き出され、処刑されてしまう。その後、身寄りをなくすばかりか犯罪者の一人息子として追われる身となったところを、ルキウスに拾われ、別の名と戸籍（の様なもの）を与えられ、以降、冒険者としてその身を立てている。  
 親が死ぬことになったのは自らが弱かったため、という臆げな記憶のせいで、焦燥するように自らの身体を鍛えている。

